

農作物被害対策

ハクビシンは登ることやバランスをとることが得意なので、イノシシなどの侵入防止対策のようなトタンやワイヤーメッシュ柵では、農地への侵入を防ぐことができません。ハクビシンの侵入防止には電気柵とネットの併用が有効です。

▷電気柵

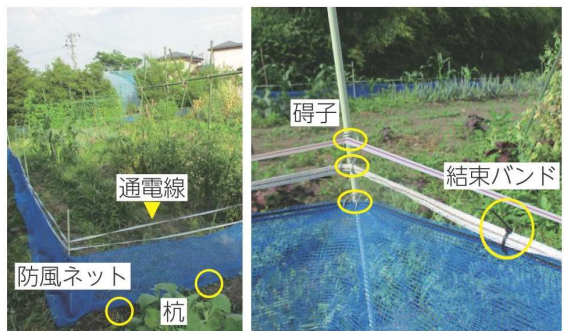
中型動物用の電気柵は通電線が4段です。各段を地面から等間隔（10cm・10cm・10cm・10cm間隔）で設置します。

一番下の通電線を地面から高さ10cmの位置に張るため、下草の管理が大切です。



▷ネット併用電気柵

ハクビシンをネットに登らせて通電させる仕組みです。上部を通電線2段（ネットから5cm・5cm間隔）にし、下部に防風ネット（40～50cm幅）を張ります。ネットと通電線の間は結束バンドで繋ぎ、下部がネットのため杭を指します。



※40～50cm幅のネットがなければ、1m幅のものを1回折り畳み使用します。

ハクビシンから家屋と農作物を守ろう！

市内では、イノシシに次いでハクビシンによる被害が多発しています。
ハクビシンの農作物被害・家屋被害の対策を紹介します。

特徴



▲センサーカメラで撮影

▷生態的特徴

本来は樹洞で生活する
夜行性で狭い空間が得意
野菜や果物を中心に食べる
特に甘いものが好き

▷形態的特徴

鼻筋に白い線がある
手足と尻尾の先端が黒い
足の裏に吸盤のような滑り止め
体長の4割以上を占める長い尻尾

Point

足裏の滑り止めで、垂直の隙間や爪のからまない構造物を登ことができます。住宅に侵入する場合は、電線を伝って軒下や、床下から入り込むことがほとんどです。

家屋被害対策

ハクビシンは神社や仏閣、集会所、家の天井や屋根裏に住みつき、住宅の損壊や糞尿被害など、衛生面の悪化を招きます。

家屋被害がある場合は、侵入経路を見つけ侵入口を塞ぐ必要があります。侵入口を塞がないと捕獲をしても他の個体が入り込むため、被害を繰り返すことになります。侵入口が湿気対策などで隙間が設けられている場合は、金網で塞ぎます。

金網の選び方

Point

金網が噛み切られないように、線径が太く目合いの小さいものを選びましょう。

ホームセンターなどで売っている2cm目合いの亀甲金網がオススメです。

